

新年少さん以下向けの対策

絵画は開始が早いほど圧倒的に上達する 幼稚園受験は適切に！

それでは、新年少さん(来春から3年保育の幼稚園、保育園に通う子供)以下の対策はどうすべきか、アンテナの石井校長に聞いた。小学校受験を見据えてということであれば、①「どの学校を受験するかは決めていないが、慶應幼稚舎を受けることだけは決めている」というご家庭には、まずは、絵画のプライベートレッスンから始めるべきだという。毎週のようにアンテナに来る必要はなく、月2回程度で十分だが、早く始めることが効果的だという。「通い始めることで絵が好きになり、ご家庭でも描くようになりますよ」と石井校長。②「志望校はまったくの白紙、どんな学校の進学になったとしても知能だけは発達させたい」というご家庭には、知能指数アップのためのプライベートレッスン「アンテナPちゃん」が最適だという。アンテナPちゃんを受講して、知能テストのスコアが150を超えて幼稚園受験に合格したお子さんも散見する。また、③幼稚園受験を考えているのであれば、幼稚園のタイプによってまったくやるのが異なるから、詳しい人に相談すべきだとのことだ。

アンテナの石井校長との一問一答は以下のとおり。

Q1.お教室で言う「新年少」や「新最年少」というのは何歳なのか？

A1.わかりにくいのは「最年少」だが、最年少というのは年少の一年下の学年になる。具体的には、以下の表の通り。

学年名	内容	生年月日
新年長	2012年4月に年長になる学年	H18(2006)/4/2~H19(2007)/4/1 生まれ
新年中	2012年4月に年中になる学年	H19(2007)/4/2~H20(2008)/4/1 生まれ
新年少	2012年4月に年少になる学年	H20(2008)/4/2~H21(2009)/4/1 生まれ
新最年少	2013年4月に年少になる学年	H21(2009)/4/2~H22(2010)/4/1 生まれ

Q2.石井校長の意見に従うと、新年少さん以下は勉強しなくてよいとのことだが、他のお教室では小さい頃からペーパーをやる。実際はどうか？

A2.絵画や知育を除けば、基本的には、幼稚園就園前の年齢であれば、「適度に身体を動かし、適度に頭を動かし、バランスのよい食事で、睡眠時間も確保し、家族の会話をしっかりとし、穏やかな環境の中で過ごす」、「さまざまな経験をさせる」、「少しずつ自分でできることをやらせる」のが一番だ。

まずは心身健康ということが大原則だが、家の中に閉じこもって刺激を受けないので、放射能汚染(線量、風向き、気候、時間)などに気をつけながら屋外で遊ばせることは大切だ。また、さまざまな経験をさせるのも重要だ。わざわざ旅行をすることもない。いわゆるペーパーを小さいうちからやる必要はまったくない。勉強より遊びだ。ブロック・積み木、人生ゲームのようなボードゲーム(理想は手作りスゴク。テレビゲームなどの類は×)、おはじき、ビーズ、トランプ(最初は神経衰弱やババ抜き。最終的には七並べ)を家族で遊んでほしい。お父さんが将棋をする人は将棋もよい。知能が発達する。一番効果があるのは、絵本の読み聞かせだ。本は高いし、場所も取るから、図書館を積極的に利用してほしい。一緒に絵本選びをするのも楽しい。また、休みの日は、公園でかけっこ、なわとび(二人とびや、大縄)、芝生で「でんぐりがえし」、ケンケンパー、(差し支えなければ)キャッチボールやサッカー

のパスなどの運動をするとよい。また、スーパーマーケットでの買い物も知育によい。物の名前を覚えるし、色や数も覚える。受験には関係ないが、新鮮な食材の見分け方、賞味期限なども教えるとよい。また、カレーライス材料(お受験頻出)を一緒に探したり、どういう順番で店を回るのが最短距離なのか等、大人が普通に工夫することを子供に教えると賢い子になる。

Q3.幼稚園選びはどうしたらよい？

A3.幼稚園は大きくわけて3種類ある。

①小学校に内部進学できる幼稚園、②有名お受験幼稚園、③それ以外の普通の幼稚園の3つだ。保育園は3つ目の分類に入れて考えてよい。

①小学校に内部進学できる幼稚園にも(1)ご縁で決まる幼稚園と、(2)試験で決まる幼稚園と、(3)その中間がある。青学や学習院の幼稚園はご縁100%と考えてよい。一方、白百合の幼稚園は、親の面接を含めて試験で決まる。それ以外の付属幼稚園は、程度は異なるがその中間だ。試験で決まる幼稚園と、その他の中間的な幼稚園の場合は子供の試験対策が不可欠だ。ご縁で決まるきまる幼稚園は子供は関係ないので、親がご縁を捜すしかない。②の有名お受験幼稚園というのは、若葉会、枝光会などであるが、こういう幼稚園は在園生や最近の卒業生の親の紹介でご挨拶に行くことが必要だ。そういうプロセスを得ないで合格する子供はほとんどいない。また、子供もほとんど合否には関係がない。③の幼稚園は個別で事情が違う

ので、幼稚園に訊くのがよい。

Q4.保育園は小学校受験に不利なのか？

A4.不利ではない。アンテナからは、共働き・保育園で慶應幼稚舎も早稲田実業も合格者が出ている。保育園・幼稚園の違いよりも重要な点が2つある。ひとつは、保育園にしろ幼稚園にしろ完全自由保育でないところを選ぶべきことだ。昔は幼稚園は一斉保育(みんなでお遊戯する等)で、保育園は自由保育(預かるだけで何もしない)というのが相場だったが、今は違う。幼稚園でも完全自由保育があるし、保育園でも一斉保育の内容が入っているところも珍しくない。一斉保育の内容があるところが受験には向いている。たとえば、ドルトンスクールは個別での知育を追求するため、一斉保育の内容がほとんどない。そのため、お教室で、「みんな一緒に〇〇しよう」という指示がでたときに、「やりたくない」「どうして一緒にやらないといけないの？」となる例がある。素直に、「はい」と楽しく一緒に遊んでくれればよいのに、そんなこともできない。もう一つは幼稚園の場合だが、お受験する人が半分以上いる幼稚園がよい。というのは、受験する人がいない幼稚園では、日が暮れるまで園庭ですずっと遊ぶ。ひとりだけお教室に行こうとしても、子供が「遊びたい。お教室に行きたくない」となる。受験する子がそれなりにいる幼稚園では、みんなが三々五々に解散するので、自分だけが遊べないという状況にはならない。

